

21

J U N E・月

三つの祭りの奥義を握って 行進始まり

民 10:33 ~ 36 こうして、彼らは主の山を出て、三日の道のりを進んだ。主の契約の箱は三日の道のりの間、彼らの先頭に立って進み、彼らの休息の場所を捜した。彼らが宿営を出て進むとき、昼間は主の雲が彼らの上にあった。(33 ~ 34)

新 315 番 主よ、わが主よ (旧 512 番 主よ、わが主よ)

- 聖句暗唱_IIテモ 2:1~2 これは必ず成し遂げなければならないし、あの人のせいで私がこんなにしんどくて、その問題だけなければうまくいくだろうし、私に利益になればとても幸せだと話します。私中心で考えて私の利益だけを追い求めて選択し、私が成功することがすべてだと信じています。そのようなサタンのわなにはまって生きていることすら分からないまま過ぎてしまいます。このとき、私たちが神様の御前で考えを改めなければなりません。それでは、どのように変えるのでしょうか。
- 聖書通読_ダニ 7 章

Q.

主をほめたたえて 現場の暗やみを 縛る時間

※ 記事には 1 番の歌詞が引用されていますが、著作権の関係により、PDF 版は掲載を省略いたします。お手持ちの讃美歌をご覧ください。

神の霊がサウルに臨むたびに、
ダビデは立琴を手にとって、ひき、
サウルは元気を回復して、
良くなり、
わざわいの霊は彼から離れた。

I サム 16:23

1. みことばが止まれば止まり、みことばが進むときに進めば良いのです

私の計画どおりにならなければ問題だと思ってしまいます。しかし、ヨセフは違っていました。彼は濡れ衣を着せられて投獄されましたが、監獄から出してほしいと祈りませんでした。問題をなくしてほしいと祈るより、神様のみことばを握りました。私がいるところで神様の力を味わうようにしてほしいと祈りました。私たちもヨセフのように祈って、みことばについて行けば良いのです。

2. 神の国を味わえば良いのです。

祈りの中でみことばに従って行く道ごとに、神様のみことばが宣べ伝えられるところに神の国が臨みます。みことばの中で神様が造られた私、神様が与えてくださった私のこと、神様が私にしろさいと言われることを見つけるのが祈りです。

正しい祈りをするとき神の国が臨みます。そのとき、暗やみの勢力は力を失い、御座の祝福が現場に臨みます。そして、私たちは時間と空間を超える神様の力を味わうことができます。

契約の祈り

神様、神の国の背景を与えてくださり感謝します。この背景を味わって生きる神の子どもになりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

22

J U N E・火

伝道者の三つの征服

ガラ 2:20 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によるのです。

新 93 番 イエスはわがいのち (旧 93 番 イエスはわがいのち)

- 聖句暗唱_IIテモ 2:1~2 私たちは、通常、問題に会うと落胆します。または、問題の中でも神様がともにおられることフォーラムします。しかし、より重要なことは、問題の中で神様が必要とされることを見つけることです。このとき、伝道者が征服するようになる三つのことは何でしょうか。
- 聖書通読_ダニ 8 章

Q.

私を愛し 私のために ご自身をお捨てになった 神の御子を信じる 信仰によるのです。

まだ十字架につけられない私の体質は何でしょうか。

今、私に与えられた仕事、職分、役割のすべては神様の絶対主権の中で受けたものです。

神様は、私に与えられたこの場で望んでおられること、必要とされることがあります。

ご自身をお捨てになるほど私を愛されたイエス・キリストを信じるその信仰の中で生きる生活、はたして、それができないようにさせる私のことは何でしょうか。

私たちは、通常、問題に会うと落胆します。または、問題の中でも神様がともにおられることフォーラムします。しかし、より重要なことは、問題の中で神様が必要とされることを見つけることです。このとき、伝道者が征服するようになる三つのことは何でしょうか。

1. 神様は私たちに必要なことを与えられます

神様は私たちに「当然な答え」をくださいました。私たちは、サタンが与えた 12 の問題から解放され、ペテロの告白に答えられたイエス様のみことば^{マタ 16:17~19}のとおり、ハデスの門を勝ち、天の御国のかぎを握る答えを受けました。最終的に神様は、私たちがただキリストを信じる信仰の中に留まることを願われます。

2. 神様は現場と時代に必要なことを与えられます

教会史の最大の危機の時も、神様は「必然的な答え」をくださいました。現場に神の国が臨んで三千人の弟子が起きる祝福^{使 2:41~42}が起きました。患難のように見えたのですが、パウロは宣教師として派遣され^{使 11:19, 13:1~4}、マケドニヤという新しい現場に伝道の門が開かれました。これは現場と時代に必要な「絶対答え」でした。

神様が未来に必要とされることがあります。まったく福音が伝えられてない全世界の 237 か国、教会と現場に、私たちが 24 証人として立つことを願っておられます。病人をいやし、弟子^{サミット}を立てることは、神様の絶対計画です。

契約の祈り

神様、毎日、ただ私の中におられるキリストにあって生きますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

23

J U N E・水

荒野ですべての問題の解決

民 19:1～10 身のきよい人がその雌牛の灰を集め、宿営の外のきよい所に置き、イスラエル人の会衆のため、汚れをきよめる水を作るために、それを保存しておく。これは罪のきよめのためである。(9)

新 23 番 世にあるかぎりの (旧 23 番 主イエスのみいつと)

- 聖句暗唱_IIテモ 2:1-2
- 聖書通読_ダニ 9 章

Q.

教会には卒業がありません

自分の姿を振り返って見て、心を新たに更新する人は、世の中でも認められて成功します。自分の過ちから学び、同じ失敗を繰り返さないようにしましょう、という倫理、道徳的な話をするではありません。

神様の前で毎日自分を振り返って見る時間を持つ人は、更新するしかありません。

教会に卒業はありませんが、はじめられた神様がキリスト・イエスの日まで成し遂げてくださることを信じて [ピリ 1:6](#) 成長する人はいます。

私は成長していますか。

人生の方向が決定される重要な時刻表を迎えるときがあります。イスラエルがエジプトからカナンの地の近くにきましたが、荒野の生活は簡単に終わりませんでした。カナンの地を目前にしてカデシュ・バルネアで 38 年間留まりました。神様は荒野でどんな準備をさせられたのでしょうか。

1. 原罪解決の唯一の道

人間の考えではまったく理解できなくて、息苦しい状況が長く続いたら、神様の計画と理由を悟らなければなりません。神様は荒野で赤い雌牛を持ってきて燃やして、血を撒くいけにえをささげなさいと言われました。神様を離れて不信仰になって生きる自分を悟って、神様に許される時間が必要です。神様は、私たちが神様を離れた問題を解決する道は、イエス・キリストだけであると悟ることを望まれます。

2. 荒野で悟るように望まれること

暗やみの勢力とひどいのろいから逃れて神の子どもになりましたが、苦難が近づけばまた不信仰になる体質と私中心の考えを変えなければ、神様が約束されたカナンの地に入ることはできません。不信仰になる自分の姿を知ること自体が、神様の恵みです。神様は救いの祝福を味わってみことばを聞くたびに、自分を発見して更新する人を通して神様の契約を成し遂げられます。

契約の祈り

神様、荒野に行く私たちがイエス・キリストの中にあるすべての祝福を生活の中で味わって、毎日更新しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

24

J U N E・木

岩から出たいのちの水

民 20:1～9 杖を取れ。あなたとあなたの兄弟アロンは、会衆を集めよ。あなたがたが彼らの目の前で岩に命じれば、岩は水を出す。あなたは、彼らのために岩から水を出し、会衆とその家畜に飲ませよ。(8)

新 85 番 主を思うときは (旧 85 番 主を思うときは)

- 聖句暗唱_創 1:27
- 聖書通読_ダニ 10 章

Q.

私の 24 は何で満たされていますか。

すべての人に、1日 24 時間が与えられます。

その時間を何で満たすかによって、その人の人生が決定されると言っても過言ではありません。

自分の選択によって、または無意識の中で、不信仰と恨みで一日をぎゅうぎゅうに満たす人がいるでしょう。

いつも否定的な考えをして、不平と心配の言葉を吐き出す人が神様の計画、願いを考えるのはやさしくありません。

今日、1分間みことばを黙想して祈りましたか。よく始めました。

1分が5分になり、1時間、12時間、23時間になる日が来ます。

救われて神の子どもになっても、身分と権威を忘れて、まるで神様に会えなかった人のように生きていくときがあります。どのように、神の子どもの本来の姿に戻ることができそうですか。

1. みことばを黙想するとき

神様のみことばだけがたましいを生かします。聖日に講壇のみことばを通して神様のみことばを受けなければなりません。そのみことばを生活の中で黙想するたびに、みことばがたましいと心と考えの中に流れ込みます。時間を作って黙想し、時間が空いたら黙想して一日中みことばを思い出してみましょ。岩からのちの水が出るように、私たちのたましいに神様のみことばが流れて行かなければなりません。そのときに、私たちのたましいの根源が生かされ、回復します。

2. 祈りの幸せの中にいるとき

変わることなく子どもを愛し、限りない力を持っておられる神様を見上げるとき、霊的な力を得ます。祈りの時間が幸せな人は、どんな状況や問題がきても、揺れたり崩れたりしません。神様の限りない力を自分のものとして持ってきて味わうことができるからです。

みことば黙想の力を経験して、祈りの幸せを味わう人は、神様が備えられた答えを味わいます。福音を知らないために心の病、考えの病になって苦しんでいる人に答えを与え、福音をもって次世代を生かすようになるでしょう。

契約の祈り

神様、今日、神様がまことの力を与えてください。世界を生かす回復の時間、幸福の時間を持ちますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

インマヌエル

イザ7:14 それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。

新8番 聖なる聖なる (旧9番 聖なる、聖なる、聖なるかな)

- 聖句暗唱_創1:27
- 聖書通読_ダニ11章

カナンをあらかじめ偵察したヨシュアとカレブは、まったく理にかなわない報告をしました。むしろ残り10人の報告が妥当でした。しかし、カナンに入った人は、ヨシュアとカレブだけでした。二人は最後まで神様が約束されたみことばの中にいました。みことばの中にあるインマヌエルは、いつ、どこで、どれほど味わうべきでしょうか。

1. 毎日、どこでもインマヌエルを味わうべきです

神様は永遠の前から永遠の後まで、私たちとともにおられる方です。その方は私たちにイエスをキリストに送ってくださり、地獄、サタン、わざわいの問題を解決してくださいました。私たちは、毎日この祝福を味わって、生活で最優先にすべきです。学業と産業の答えもここから出なければなりません。

2. みことばと契約の中でインマヌエルを味わうべきです

イスラエル民族が危機、わざわいに会うたびに、神様はインマヌエルの祝福によって回復してくださいました。奴隷に転落したイスラエル民族は、「神様が私たちとともにおられる」という契約を握りました。再び契約を逃して捕虜になったときも、「みことばの中に留まる者」は生き残りました。また、ローマの属国になったとき、初代教会の信徒たちは「みことば」マタ1:23を回復しました。

人々は神様のみことばを握って祈るより、多数の人の言葉にもっと反応します。これからは、どこにいてもみことばの中に入って、誰を見ても福音の目で見える信仰生活を回復しなければなりません。

契約の祈り

神様、インマヌエルの祝福をくださって感謝します。いつもこの契約の中にいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。
アーメン

Q.

伝道者が語る信仰生活

多くの人が信仰生活するのが大変だと言いますが、それは正しく知らないからです。エジプト時代、バビロン時代、ローマ時代の人々が選んだのは、難しいことではなく簡単なことです。神様のみことばを選ぶのは簡単です。むしろポティファルの妻と戦うことが難しく間違ったことです。ヨセフは話^い話をしな^いと思って契約を握りました。誰が勝ったでしょうか。どちらの方がやさしいでしょうか。

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴが王と真正面からぶつかって戦うことは不可能です。より難しいです。代わりに、彼らは契約を握って死ぬことにしました。神様はどのように働かれたでしょうか。

みなさんも、聖書の中の Remnant のように、契約を握って新しく始めてください。

重職者産業人の 24

ロマ 16:25 ~ 27 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。(27)

新 285 番 主イエスを知りたる (旧 209 番 主イエスを知りたる)

- 聖句暗唱 _ 創 1:27
 聖書通読 _ ダニ 12 章

すべての人には、神様の計画が入っている時刻表があります。そのため、何をするのかを悩むより、どのような霊的状态であるのかをまず点検しなければなりません。ほとんどの人は、目に見える働きが好きです。しかし、福音はその逆です。福音は、パン種のようにまったく目に見えませんが、絶対的な影響を与えます。

1. 空いた所、捨てられた所を生かすべきです

私たちは、国内にすでに来ている人たちと海外に行っている人たちを重要に思わないときが多いですが、神様の目には、彼らが 237、いやし、サミットの現場です。この働きをよくした人物がパウロです。パウロは捨てられた者「オネシモ」に福音を植えて、彼をコロサイ教会の監督に導きました。このように、重職者産業人は、神様の目で現場を見て生かさなければなりません。

2. 重職者がいるところ未来があります

重職者の現場がまさに未来です。それゆえ、神様は重職者を最初に祝福されました。神様は重職者を通して Remnant が生かされることを願われます。これを使命として握った重職者には、光の経済の答えが当然ついてくるでしょう。

イテロ長老とラハブに与えられた使命、預言者 100 人を助けたオバデアに与えられた献金の祝福は、今後、重職者産業人が受ける答えです。重職者産業人はローマ 16 章の人々の隊列に立った証人です。

契約の祈り

神様、空いた所、捨てられた所、未来を生かす重職者産業人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Q.

私の利益よりも

ある産業人の話です。
 その産業人の父親は田舎の教会で牧会をしていました。
 地域が田舎であるために、いつも余裕がありませんでした。

生活は難しかったのですが、産業人の父親は都市からよく牧会の提案を受けたりしました。通常、大きい教会から招かれるとすぐに承諾するのですが、産業人の父親は違いました。祈って、最終的には断りました。

「教会の事情が難しいのに私が都市に行くというのにはあり得ない。ここは、あまりにも生活が厳しいので、他の牧師が来るのは難しい。」

産業人と兄弟たちは、父親の選択を見て、まことの牧会者とは何かについて考えたそうです。そして、教会のために、牧会者である父親のために、もっと祈るしかなかったそうです。

神様は自分の有益より教会と地域を先に思った牧会者の家庭を祝福されました。産業人は、足りないことがないように神様がすべてを満たしてくださったとあかしして感謝を告白しました。